

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	外出傾向のある人については、情報収集・分析を行い、課題ポイントを職員が周知することで、施錠(玄関)することが回避されることを期待したい。また、身体拘束に関する外部研修の参加・内部研修の開催を促し、拘束に対する理解を深めた上、しないケアの実践に取り組まれるよう期待したい。	①入居者の安全を確保しながら身体拘束のないケアに取り組む。 ②ホーム内外の身体拘束に関わる研修に参加できる。	①現在は、日勤帯において玄関等の施錠は行っていない。 ②身体拘束に対してさらに理解が深まるよう、ホームの年間研修計画に組み入れる。また、外部の研修にも参加できるように、研修計画を策定する。	6か月
2	33	重度化や終末期においては、これまでのケースも踏まえ、職員の心構えや看取りに関する研修も取り入れ、事業所の方針や体制づくりの整備がなされることを期待したい。	①重度化や終末期ケアに関する研修を実施する。 ②重度化や終末期に向けた体制作りと方針等を整備する。	①ホームの年間研修計画に重度化時の対応や看取りに関する研修を組み入れ実施する。 ②重度化及び終末期ケアに対しては利用者及び家族の要望も取り入れ、スタッフによる検討委員会を設置し当ホーム方針(文書)を作成する。	10か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。